

都市計画道路「玉名駅平嶋線」は、南北に玉名駅や県道寺田岱明線、国道208号線を接続し、南関IC・菊水ICやJR新玉名駅及び玉名駅・有明海沿岸道路（長洲港）方面へと繋ぐ都市計画道路である。現在、県道寺田岱明線と国道208号線を結ぶ南北方向には、境川沿いの市道があるが幅員が狭小で、曲線も多く幹線道路としては適さず、広域道路網や市内循環網としての機能が脆弱な状況である。

このため、新たに南北を結ぶ幹線道路を整備することで、広域交通網や市内循環網の機能を強化し、道路利用者の利便性の向上を図る。また、JR玉名駅と接続しているため公共交通網の連絡強化、災害時における交通ルートの確保や避難経路としても活用ができるため、定住・物流・国土強靱化による災害に強いまちづくりにも寄与する。

R6.5月開発計画があり、道路整備プログラムでは最優先路線であるため、開発前後で経済比較を行ったところ、用地を先行取得した方が有利と判断し、暫定整備を行っている箇所★

事業スケジュール		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業名	事業費(千円)	策定						
都市計画道路整備プログラム		策定						
①玉名駅平嶋線	1,400,000	概算要望	詳細設計	用地	工事	工事	工事	

注) なお、進捗状況により事業内容や事業期間など変更となる場合がある。



＜経緯＞

令和6年5月都市計画道路「玉名駅平嶋線」の路線一部（玉名市中尾）にて、宅地分譲地の開発計画があり「公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項」に基づき、所有者から「土地有償譲渡届出書」が提出された。

このため、関係課で検討を行ったところ、計画地には分譲後、家屋が4戸建築される計画で、そうなった場合、将来に多額の補償費等が発生すると判明、用地の先行取得を行う方が有利であったため用地を先行取得し、暫定整備を行うこととなった。

＜用地先行取得を進める理由＞

1 都市計画道路整備プログラムでは、優先度第1位（次に進める都市計画道路）である。

令和3年度から令和4年度にかけて、都市計画決定後20年以上を経過し、未着手となっているものや一部着手したものの残りの区間について事業の目途がたっていない都市計画道路10路線を対象に事業の必要性和困難性を検証し路線を抽出、事業の継続・廃止を検討、その結果4路線（一部区間廃止2路線、全区間廃止2路線）延長L=3.87kmを廃止している。

その後、残った10路線を対象に、整備優先度を定める「都市計画道路整備プログラム」を現在策定中で、令和6年度に策定する予定であるが、この中で玉名駅平嶋線は、優先度第1位の路線である。

2 経済比較の結果 1億5千万円の事業費削減

宅地開発後の概算事業費と用地を先行取得した場合の概算事業費を算定し比較した。

用地先行取得した場合の事業費削減額として

① 家屋補償費算定業務4戸分	6,000千円	
② 分譲後宅地単価と宅地見込単価との差額	26,890千円	
③ 家屋補償4戸分	120,000千円	
合計	152,890千円	削減となる。

以上の理由により、用地先行取得を行う方が有利となる。

令和6年度 9月補正について

■都市計画道路「玉名駅平嶋線」の暫定整備について

今回、都市計画道路「玉名駅平嶋線」の暫定整備に伴う9月補正については、令和3年5月に、市道岱明玉名線が供用開始し、その後、次期都市計画道路の選定を行うため、R3年度から都市計画道路の見直しや見直し後の全路線を対象とした「都市計画道路整備プログラム」をR5年度から進めており、策定中のプログラムの中では、玉名駅平嶋線は優先度第一位の路線である。

このような背景の中、今年5月に「玉名駅平嶋線」の路線の一部（L=75m）で、宅地開発計画が持ち上がり、整備前と整備後に事業化した場合の概算事業費を算定、経済比較を行い検討したところ、宅地整備後に道路整備に着手した場合、多額の費用が掛かることが判明したため、9月補正により暫定整備予算を編成したものである。なお、暫定整備工事（第1期）の完了は、令和7年3月末予定である。

<9月補正額>

測量設計及び用地面積確定業務、工事請負費L=75mW=16m、用地買収費A=1190㎡、電柱移転 総額 34,000,000円

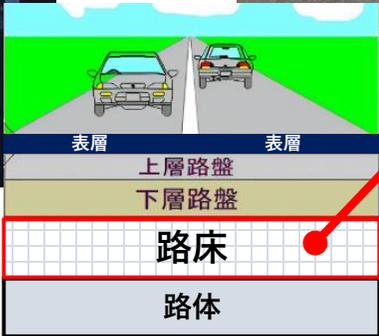
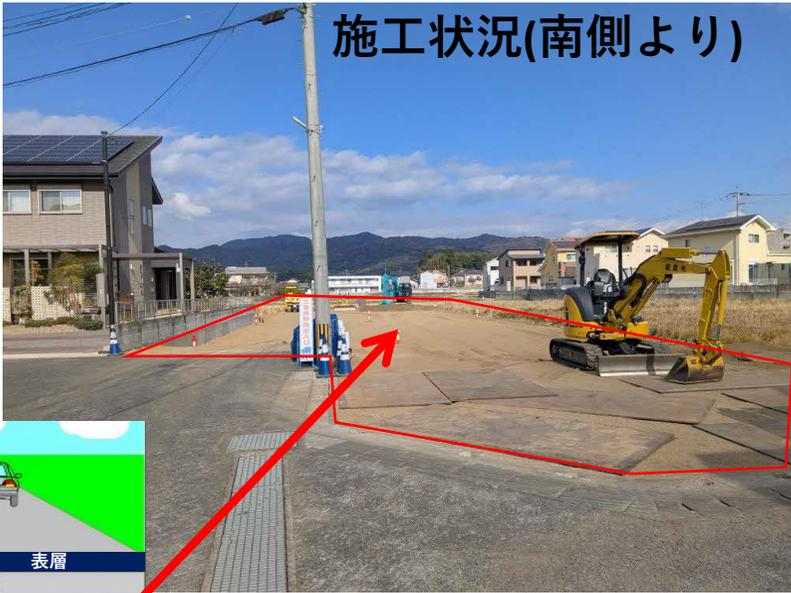
<R6年度 暫定整備工程表>

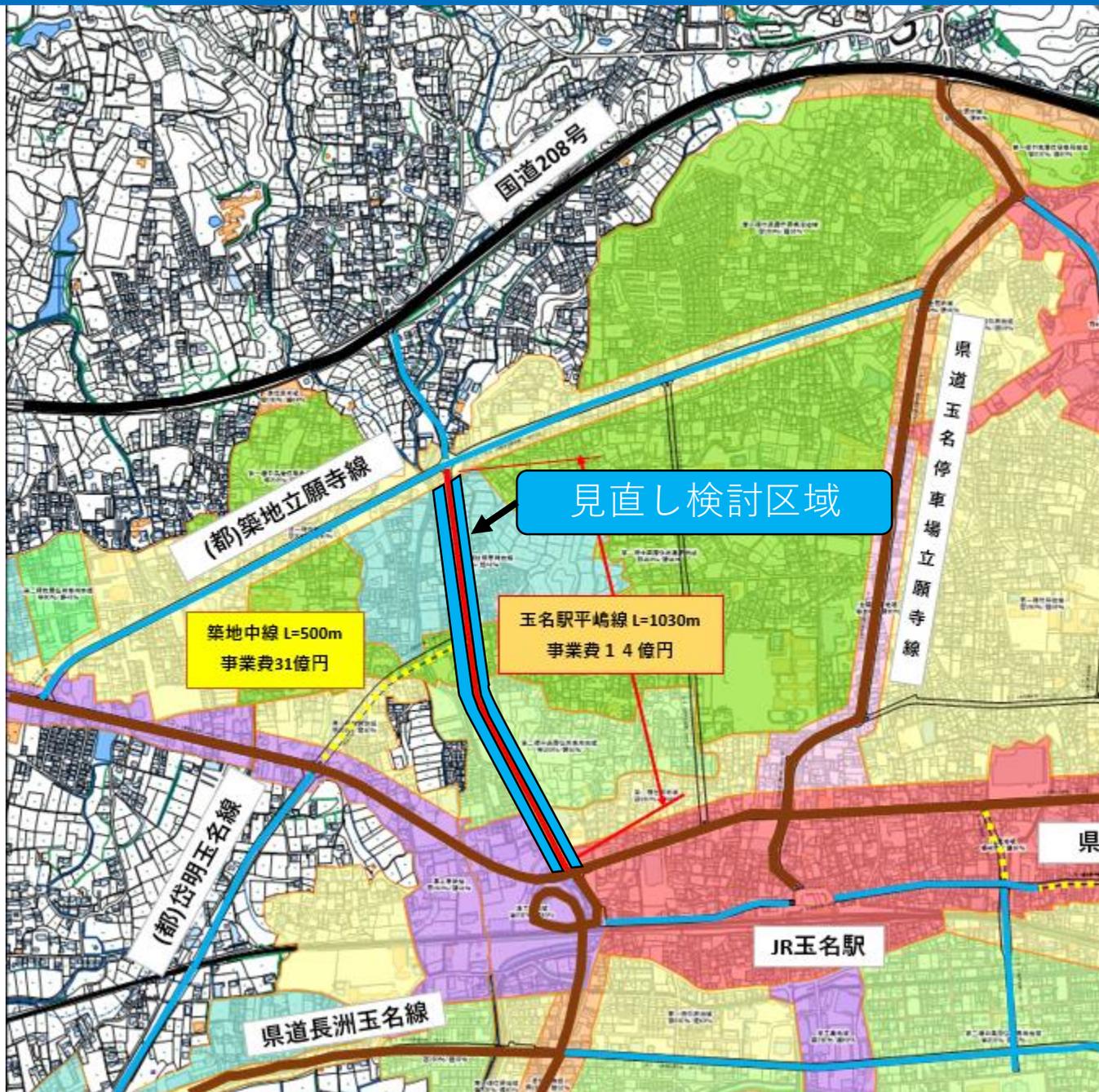
色凡例 予定または実施中 実施済 予定より遅延して実施中 別紙1

実施事項	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			備考
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬													
1 開発業者																																					
1 農地転用申請												7/16申請																							転用許可11月下旬		
2 宅地開発工事																																			完了1月上旬から着手		
2 玉名市																																					
1 予算編成												準備																									
2 測量設計																																			(有)坂井設計コンサルタント1/20まで		
3 道路工事																																			(有)倉組3/21まで		
4 下水道路																																			完了下水道工務係		
5 水道工事																																			完了水道工務係		
6 文化財試掘																																			文化課 11/21~22 倉組		

暫定整備は、R7年3月に路盤まで完了予定。引き続き、令和7年度は、表層(AS舗装)を行い全て完了予定。

暫定整備工事状況写真R6.12.18





＜説明文＞
 R6年12月議会の一般質問において、玉名駅平嶋線の沿線地域の用途地域について、お店やオフィスなどの商業施設も建てられるよう変更をすべきとあり、市の見解として、周辺の幹線道路では、片側30mの用途幅が設定されているところもある。例えば、築地立願寺線では、沿線30m幅を、3000㎡までの店舗、事務所、ホテルなどは建てられる「第一種住居地域」となっている。よって、本路線の沿線用途についても、住み安いまちづくりに向けて、状況を見極めながら見直しも含めて検討すると答弁を行っている。